

第3号

発行 群馬県訪問看護ステーション
連絡協議会
群馬県医師会内
住所 〒371-0022
前橋市千代田町一丁目7-4
TEL 027-231-5311
FAX 027-231-7667
責任者 鶴谷嘉武



たいよう

元気のできる訪問看護 ステーションをめざして

群馬県訪問看護ステーション

連絡協議会

副会長 中野秀彦

平成17年4月より群馬県訪問看護ステーション連絡協議会に参加させていただきました。総会、研修会、新年交流会など、皆様の熱気と真剣さに圧倒され、元気をいただく1年でありました。

今回の診療報酬改定では、中里貴江副会長がモデル事業で頑張られた「通所看護」が「療養通所介護」として点数化が認められ嬉しい限りです。しかし、国の財政調整に終了した医療制度改革の議論では、訪問看護ステーションにかかわる我々から元気を奪っていくようで心配です。我々の元気のなさは利用者さん、家族の方々の元気も奪ってしまいます。

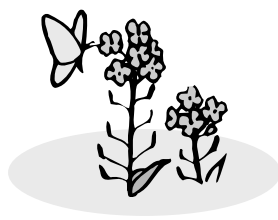
ここで5つの質問です。

1. 世界で最も妊産婦死亡率の低い国は？

2. WHOに世界で最も優れた医療制度と認定された国は？
3. 先進7カ国の中で最もGDP比の医療費が少ない国は？
4. 世界で最も平均寿命の長い国は？
5. 世界で最も健康寿命の長い国は？

正解は、全て「日本」です。先輩方や皆様が築き上げた医療・看護・介護による、これらの結果に胸を張りましょう。

この「たいよう」の表紙イラストのように、群馬県訪問看護ステーション連絡協議会が、北風に負けぬ「太陽」、でありつづけるようこれからも元気を出していきましよう。



会員皆様へ

名称、住所等に変更がありましたら速やかに事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。特に用紙はございません。

事務局 群馬県医師会内 業務課 西田
TEL : 027-231-5311
FAX : 027-231-7667

平成17年度第4回研修会

『山崎摩耶先生に講演を依頼して』

群馬県訪問看護ステーション

連絡協議会

副会長 中里 貴江

今回初めての試みとして、病院看護職の方にも研修会のお誘いを出し合同の研修会を開催する事が出来ました。群馬県と群馬県看護協会との共催により、会場も群馬県看護協会大研修室をお借りし、訪問看護ステーション看護職は105名、病院看護職が51名と多くの方々に参加していただき意義のある研修会になりました。

研修会は当協議会理事の関根京子が司会を務め、顧問の塚本まさ枝が開会の挨拶、共催者側から群馬県看護協会会長の飯島恵子様よりご挨拶をいただき研修会は始まりました。

座長は副会長の中里貴江が務め、講師の山崎先生より『訪問看護ステーションの展望と課題―看看連携の強化―』を講演していただき

ました。

講演の要旨は

①わが国における高齢化と保健医療福祉

②2006年診療報酬改定にみる病院医療の変化と在宅ケア・訪問看護の動向

③介護保険制度改正のポイントと介護報酬

④医療必要度の高い国はどこでケアを受けるのか？（フランス・デンマークの例

⑤患者参加型の看看連携と地域連携パス

⑥24時間在宅ケアの可能性と訪問看護の課題

でした。

その後、病院看護職の方からの質問や当協会副会長であり前橋市医師会理事でもある中野秀彦先生から医師の立場でのご発言もあり、理事の柳沢恵子からの閉会の挨拶で研修会は終わりました。

今回の研修で看看連携の必要性

を再認識し、在宅療養者や家族を支援するために協働していくことの意義を今後の課題として十分に学べたと確信しています。



俳句

紅梅の 一枝繫ぐ

縁かな

親身なる 看取りがうれしい

小春の院

新人の 健気なナース

振りとなり

読み書きも 食うも一所や

春炬燵

春立つを 訪問看護に

告げられし

看取婦の 気遣いうれし

隙間風

利用者御家族

向山上原高行様



デイズニーシーへのバス旅行

～ALSの利用者さんとも～

群馬県看護協会

訪問看護ステーション富岡

内田 智恵美

当ステーション始まって以来の大イベントに所長はじめスタッフ一同、不安と楽しみの両方を抱えながらの日々が始まりました。呼吸器装着・意思疎通ができない医療依存度の高い方をどうしたら安全・安楽にデイズニーシーまで行けるのか大変悩みました。主治医とのカンファレンス、緊急時の対応、バスの中の過ごし方などあらゆる視点から問題を予測し解決策を見出しておきました。デイズニーシーへ下見に行き救護室の確認をしたり、バス会社との打ち合わせを綿密に行い、平成17年10月9日総勢30名のバス旅行は無事達成されました。滞在時間5時間ほどでしたが様々なショーを特等席で見られ家族水入らずの楽しい一時を過ごせました。そんな姿を見



て私たちは胸が熱くなり、これらの経験をともに他の利用者の方も小旅行できるようなサービスが提供できればと只今、第2弾を計画中です。スタッフ一丸となつて奮闘中、応援してください！

訪問看護ステーション連絡協議会

活動報告

東支部

(伊勢崎・桐生地区)

役員 古郡

偶数月の第3木曜日になると、馴染の顔触れがきらくな家に集い、居心地の良い雰囲気の中日々の疲れを忘れ、情報交換をはじめ勉強会を行なっております。特に1人で頭を抱えているケースに対しては、活発なデイスカッションにより得る物が多く、明日への活力となっております。

現在、サテライトより独立した事業所を含め、18ヶ所の訪問看護ステーションが活動中ですが、18年度の介護保険改定に向けて、研修や業務の体制強化等に勤しんでおります。



西支部

(高崎・富岡・安中地区)

役員 青木

緊急時の対応の仕方、待機料金について又、地域の主治医の先生方との関わりをどのように行っておるのかを各ステーションの現状の中から意見交換を行いました。

8月16日は摂食・嚥下障害について、講師に公立藤岡総合病院言語療法士 細縦由里先生を依頼して摂食・嚥下障害の定義、嚥下のメカニズム、リハビリテーション、実際の対応ではクッキーを嚥まないで食べてみたり、口を開けたままゼリーを食べたり、上を向いて水を飲んだり、貴重な体験をすることができました。

また、利用者に適した姿勢や食事介助方法など良い勉強になりました。

南支部

(太田・館林地区)

役員 世鳥山

今年度の支部のブロック会議は、定例会議の他に実地指導の情
報交換などもあり、積極的に意見
が交換されました。年に1度の勉
強会には「野口みどり」先生をお
招きしリフレッシュ体操を行い、
南支部のスタッフ一同が集まり、
日頃の疲れから開放され笑顔いっ
ぱいの勉強会を催す事ができ南支
部が団結された1年になりました。

北支部

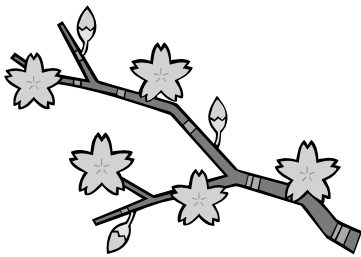
(前橋・渋川・沼田・

吾妻地区)

役員 下田

北支部は、連絡協議会の支部の
中では一番会員の多い支部です。
17年度は3回の勉強会を開催し、
毎回20名前後の管理者やスタッ
フの参加を得て有意義な時間を
作ることができました。1回目(6月
開催)では実際ステーションで
ハビリを担当している理学療法士
の方に「在宅でのリハビリのポイ

ント」について・2回目(10月開
催)は協和発酵からフェンタニ
ル(デュロテップパッチ)の癌疼
痛管理についての説明・3回目
(12月開催)ではコンバテックよ
りWOCナースを派遣してもらい
2時間講義と実習を入れストーマ
管理とスキンケアについて勉強
し、多くの質問にもアドバイスを
受けることができました。支部会
では知識の習得、疑問、悩みを解
消できる場そして、毎日忙しい業
務に追われている管理者にとつ
ての交流の場として活動していきた
いと思っています。4月は言語療
法士に依頼して話をしてもらおう予
定です。



お知らせ

平成18年度群馬県訪問看護ステーション連絡協議会総会並びに特別講演会の開催

日時：平成18年5月27日(土)午後3時

場所：群馬メディカルセンター 大ホール

特別講演

演題：訪問看護ステーションが生き残るために -パートⅢ-(仮題)

講師：特定医療法人財団健和会理事

健和会訪問看護ステーション統括所長

宮崎 和加子 先生

編集後記

全国各地に大雪の被害をもたら
し、平成18年度豪雪と名づけられ、
県内に於いても大変な思いで訪問
された方もいた事と思います。
ようやく春の日差し、暖かさを
感じるようになりました。

本文中にもありますように、2
月には山崎先生、3月には介護予
防専門官と中央よりの先生方によ
る講演、訪問看護に寄せられる期
待に応えるべく、迎える18年度は
会員一丸となつて果敢にアタック
していきましょう。

ご意見、ご感想をお待ちしてお
ります。

広報担当 佐藤

